

元気がわら版

庄原市社協だより8月号【Vol.112】

地域の困りごと、 みんなで助けあい やまびこネット365協力員研修会

7月9日、やまびこネット365協力員等研修会を開催し、萬福寺の高橋道英住職を講師に「会話を豊かに、気持ちに耳を傾ける(傾聴)」について学びました。やまびこネット365は、「困ったときはお互い様」の気持ちで助け合い、誰もが住み慣れた地域で安心した生活ができることを目的としています。

参加者からは、「聴くということはとても大変だなと思いましたし、難しいと感じました。つい自分のことを話してしまうので、今から少しずつでも聴くということをやっていくように頑張ってみます」と感想をいただきました。



P1・・・やまびこネット365 研修会
P2・・・おたがいさまネット事業、生きがい創造型サロン
P3・・・おたがいさまネット事業、介護フンポイント
P4・・・元気報告・庄原・西城・東城・口和

P5・・・元気報告・高野・比和・総領・お知らせ
P6・・・よろず相談・福祉活動応援事業のご案内・協力寄付
P7・・・寄付金
P8・・・地域のものがたり(高野)・広告

えあい仕組みづくりを進めています」

口和地域



自治振興区、行政、社協で定期的に会議を開催し、地域課題について協議しています。



自治振興区(環境福祉部)にて自治会ごとに、地域の見守り方法を協議しています。

比和地域

比和地域では、自治振興計画の「高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくり」に沿って、「緊急連絡板」を作成しました。

隣近所で話をしながら記入することで、更に関係を深め、お互いが見守りの意識を醸成するために活用しています。



高野地域

高野地域は、高齢化の進行で、高齢者のひとり暮らし、二人暮らし世帯が増加しています。

現在、高野は二つの自治振興区があり、統一した組織と内容を決めたと、それぞれの自治振興区が地域を担当するように、見守り体制を模索しているところでは。

事業を実施していく中で、誰もが「これなら自分でもできる」という部分で協力し合い、自治振興区に課題を集め整理し、事業を実施しながら良いものに仕上げればと考えます。

この地域で生活する全ての人々が安心して安全に暮らしていける環境づくりに、行政及びあらゆる機関と連携し取り組んでいきます。

総領地域

自治振興区、行政、社協で事業調整会議を進めています。

各自治会の進捗状況をはじめ見守り員の選出や万一の時の対応マニュアルを検討しました。

今後は、各自治会で見守り員を決定していただき、その後研修会を経て見守り活動を開始する予定です。

生きがい創造型サロン 世話人交流会

生きがい創造型サロン(市委託事業)とは、男性が中心になり社会貢献と生産活動を行い自ら楽しみを持ち参加することで“生きがいづくり”となるサロン活動です。また、『自分自身が元気になり、そして地域が元気になる』ことも目的としています。

6月30日には、市内全域で活動されている生きがい創造型サロンの活動発表と交流会を実施しました。

現在活動されている方だけでなく、これから活動を考えている方や、活動に興味・関心のある方にも参加していただき、たくさんの意見交換が行われました。

今後も、交流や研修の場を計画し、男性の特技や趣味を生かした“生きがいづくりの活動”を応援していきます。



「おたがいさまネット事業（地域のささ）

この事業は、ひとり暮らし高齢者世帯等で支援を必要とする世帯に、見守りや買い物支援をはじめ、地域の実情に合わせながら、支え合い活動を実施するものです。

そのことにより、孤立や孤独の解消、生活課題の解決を図り、住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせることを目的としています。

※取り組みされている一部の地域を掲載しています。

庄原地域

山内自治振興区では、関係者とご近所さんとの見守りを進めています。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の方が、病気等で入院された時に退院後も安心して地域で見守り合う仕組みについて、庄原赤十字病院の地域医療連携室のスタッフを始め医師や看護師さんとも協議をしています。

これまでに、地域医療連携室についてのお話や、認知症についての講演会を開催し、地域住民の方と一緒に考える場を計画してきました。今後も、引き続き講演会等を計画し、医療連携をおこなっていきます。



西城地域

八銚自治振興区では、「住みよい住み続けられる地域」を目指し、地域での支え合い活動に取り組んでいます。地域全体での取り組みを進めるため、振興区に、「支え合い支援グループ」を組織し、地域マネージャーの他自治会役員や福祉関係者が集い会議を行っています。



東城地域

帝釈自治振興区では、社会福祉部会が中心となり、事業の進め方について民生児童委員・ひとり暮らし高齢者等巡回相談員が加わって協議しています。

今後も先進地視察研修を計画しています。



介護ワンポイント～脱水症予防～

暑い季節です。水分補給をしっかりと、脱水症を予防しましょう。

高齢者に多い脱水症

高齢者の場合、水分摂取不足だけが原因ではありません。水分の摂りすぎ、ナトリウム摂取不足、嘔吐・下痢・腎臓疾患によるナトリウムの喪失、肝・心・腎臓疾患による水分排泄能力の低下、過剰利尿、副腎不全などの病気が原因のこともあります。

日常的な水分摂取

水分は毎日1,500～2,000cc排泄されているので、その分の水分量を毎日摂取する必要があります。大まかに言うと飲み物で1,000cc、食べ物で1,000ccの水分を摂りましょう。

水分補給のポイント

入浴・運動・畑仕事など、その前・最中・終了後も飲水しましょう。飲み水の温度は5～15℃（冷たいほど吸収は早いですが腹痛等に注意）。夏場は特に水分補給をしっかりと！大量の発汗時には塩分も少し摂取しましょう。

庄原地域センター

0824-72-5151

高地区で共に (福祉教育指定協力校事業)

高小学校では、かわせみの家と合同で七夕集会を開催し、障がいのある方への理解を深め一緒にゲームや七夕飾りを作成し、地域で一緒に暮らす一員として交流を行っています。“福祉”とは、高齢者や障がいのある方など限られた人だけの特別な言葉ではなく、地域住民一人ひとりが自分らしく暮らせ、喜びや生きがいを持ち、共に支え合い気にかかけ合うための言葉として、学習を深めています。



『よろしくお願いします』

7月より庄原地域センターの地域福祉活動専門員となりました、長重昭美です。
一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

西城地域センター

0824-82-2953



あっという間のひととき

在宅で介護されている方々の交流会を開催しました。介護老人保健施設を見学し、施設での認知症に対する取り組みについて話を聞かせていただきました。

その後、食事をしながらの交流では、「施設でもいろんな取り組みをしているんだね」「もし、自分にも介護が必要になったら、利用してみたい」など、見学された感想

や、「できる事は、自分でしてもらうようにしているのよ」と自宅での介護の様子を話されるなど、介護に対する思いを共有されました。

帰りの車中では、「あっという間だったね。次回も参加しよう」とみなさんの笑顔。

次回も介護者の皆さんがリフレッシュできるよう企画し、在宅での介護を支援したいと思います。



東城地域センター

08477-2-0488

“つばさ”をひろげて

ひきこもり家族の会“つばさ”では、ひきこもりを当事者・家族だけの問題としてではなく、地域の課題として様々な活動をしています。

6月は、「西城さをりしあわせ工房」を見学。工房の方にご指導いただき、さをり織りを体験しました。代表の角田多加雄さんは、「誰でも気軽に参加でき、自分の思いを形に(作品)にできる場所を作りたい」と話され、ひきこもり当事者の居場所と役割づくりに、家族・支援者がどう関わっていけばよいか学ぶことができました。



7月は、口和地区民生委員児童委員協議会の方々と交流会を開催しました。その中で“つばさ”の活動内容を写真や体験談を交えながら発表し、口和町における今後の取り組みについて意見交換ができました。

今後も、地域の支援と理解の輪が広がり、安心して暮らすことができる地域づくりをめざしています。



口和地域センター

0824-89-2320

福祉教育指定協力校事業を進めています

口北小学校3,4年生(9名)の「お年寄りの人に、何か喜んでもらうことができないかなあ」という声がきっかけとなり、「ふれあい便り」の作成に挑戦することになりました。

「ふれあい便り」とは、幅広い年代の個人ボランティアや駐在所、郵便局の協力を得て、80歳以上の高齢者世帯へ月1回、手書きの葉書を手渡しでお届けする取り組みです。「高齢者の方に喜んでもらえるように、絵も字も丁寧に気持ちを込めて

描きました」「一人暮らしのおじいちゃんが少しでも笑顔になるように魚の「エイ」を描きました」と、優しさが沢山こもった18枚の葉書が仕上がりました。

仕上がった葉書を西本警部補に託し、第1便の発送です。

※7月号の国原先生紹介欄にて、「認知症専門医」とありましたが、「認知症サポート医」の誤りでした。訂正し、お詫び申し上げます。





高野地域センター

0824-86-3044



“いきいきサロン” 110歳まで長生きしようや

昨年秋、「歳をとって集まることがなくさみしい」との声に、3名の方が「何とかしたい」との思いで始まった、「いきいきサロン」。

サロンが始まり、「良かったこと、変わったことは？」と聞くと、「今まで以上に、よく声をかけるようになった。」「サロンに来なかったら同じ地域にいても会うこともなかった。1ヶ月が待ち遠しい」ご家族からは、「お

婆ちゃんが毎月のサロンを楽しみにしているんですよ」と喜びの声と、「気かけ合いに繋がっている」という声が聞かれました。

「身体が一番、自分の身体は人に借りたり、引いたりできない。だまっとくということは、逃げ道を自分が作っているということ、何事にも言実行が大事。私は、110まで生きようと思う」との声に「そうだ、そうだ、このメンバー、110歳を目指そうや」とおしゃべりや運動、何より美味しい漬け物を食べながら今日も1日楽しく過ごされていました。



比和地域センター

0824-85-2300



感性豊かな芸術家たちの夏！！

梅雨も上がり、真夏の空が広がる7月28日、ゆめのいえに比和のちびっ子芸術家15名が集結。

昨年度7台のアルミ缶回収ボックスを一緒に作り、町内に設置したところ、たくさんの方からの協力、好評をいただいたので新たに3台の増設を決め、今回もちびっ子芸術家たちの力を借り、作成しました。するとやはり、芸術が大爆発!!予想どおり、いやそれ以上の大作がズラリ。

仕上げて逐次設置していきますので、楽しみにしておいてください。



総領地域センター

0824-88-2796



「おたがいさま」でつながる気持ち

先日、横山豊子さん宅を訪問したときのことです。

横山さんは長年一人暮らしで最近足は痛みで歩くことがつらい様子です。

「車を運転しないので外出するときは、社協に電話してこまわりくんを利用させてもらっています。この前も、集会所へ歩いて行ったら、近所の人で送ってくださいました。また、家のまわりの草刈りやゴミ出しも近所の人で手伝ってくださいます。みんな「おたがいさまじゃけ」と言って手伝ってくださるので心強いです」

お話の中から、ご近所同士で声をかけ合って暮らしてられる様子が伺えました。横山さんは最後に「私も何か手伝えることをしていきたいと思います」と

話してられました。

ご近所同士の「おたがいさま」が、地域ぐるみのおたがいさまに発展していけるように支援をしていきたいと思ひます。

お知らせ

平成26年度 精神障がい者地域生活支援シンポジウム

テーマ「地域で安心して生活するために私たちができること」

1 講演 講師：社会福祉法人 あらくさ 理事長 寺田 朱美さん

2 シンポジウム シンポジスト：当事者、家族、事業所、病院等

●日 時：平成26年10月6日(月) 13:30～15:45

●場 所：上高自治振興センター(庄原市高野町1283番地)

●主 催：備北地域保健対策協議会

●申込み：広島県北部保健所保健課保健対策係

電話：0824-63-5181(内線3342, 3343)

FAX：0824-63-5190

よろず相談 のご案内



○一般相談(13:00~16:00)

毎週水曜日 庄原地域センター

第1・第3木曜日 西城地域センター

〃 東城地域センター

〃 比和地域センター

〃 口和地域センター

〃 高野地域センター

第2・第4水曜日 総領地域センター(9:00~11:00)

○法律相談

※予約制で一人の相談時間が30分以内です。

9月5日(金)・19日(金) 庄原市ふれあいセンター

相談時間は12:45~15:45

9月11日(木) 高野福祉保健センター

相談時間は13:00~16:00

○多重債務相談

※予約制で一人の相談時間が45分以内です。

9月11日(木) 庄原市ふれあいセンター

相談時間は13:00~16:00

その他の相談にも応じています。
お近くの地域センターにお問い合わせください。

お知らせ

市民活動・お互い様の
活動を応援します

「地域や団体の福祉活動 応援事業」のご案内

地域の団体や民間福祉団体、グループが実施する、地域の福祉課題解決に向けたボランティア活動、交流事業、啓発事業等を応援するため、1事業(1団体)につき総事業費の2/3(ただし、上限3万円まで)を助成します。

申請期間 平成26年9月末まで。

予算 共同募金配分金を財源に、事業費予算の範囲内とします。

申請方法 総合センターおよび各地域センターにある申請様式で申し込みください。事前に最寄りの地域センターにお問い合わせください。

お知らせ

庄原市障害者支援事業所連絡協議会
作品展示会開催!

「プリズム」~きらきらアートの宝宝箱~

日時 平成26年9月20日(土)~9月24日(水)
AM10:00~PM17:00

会場 庄原市田園文化センター(2階多目的ホール)
皆さま、多数のお越しをお待ちしております。

【お問い合わせ】 庄原市障害者支援事業所連絡協議会事務局
かわせみの家 TEL:0824-72-4584

市民レポート

地域のものがたり

ひろがれ地域の輪・話・和



●レポーター名：高野町下湯川にお住まいの
伊藤 基紀さん

昨年、松江道の開通に伴い「道の駅たかの」がオープンしました。

町外で働いていましたが、スタッフ募集があり、家から近く通勤しやすいこともあり、昨年3月から、働かせていただいています。

道の駅はスーパーとは違い、ほとんどの商品を地元庄原産にこだわっています。

直売所には出荷者さんが作られた野菜や加工品を持参され、自分達で商品を並べて商品管理をされます。

出荷者さんには、様々な方がおられます。ご自身の畑で多く採れた野菜を持参される方、商売目的で沢山の野菜や漬け物等を作られる方、山菜や昆虫を持参される方など様々な目標や目的をお持ちです。



「道の駅たかの」で働き、「良かった」と思うことは、沢山の出荷者さんのお手伝いができることです。

私は、多くの方が、出荷者さんになっていただき、出荷することで自身の趣味の輪を広げたり、生きがいや皆さんの元気に繋がってほしいと思います。

過疎化が進む高野町を「道の駅たかの」を中心に、活気あふれる町にしていきたいと思います。

これからも頑張りますので、「道の駅たかの」にお越しの際は、ぜひ、声をかけてください。



“ちょっとおちゃめな伊藤君”

広告

**一人で悩まないで
まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

広島北部司法事務所（訴訟代理権認定第524014号）（司法書士登録番号828号）
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL.0824-72-2315（要予約）

広告 備北交通 旅の御案内 庄原発

■主催：備北交通：まごころツアー おすすめコース

①10月16日(木)発 島津 亜矢コンサート 大人：14,700円・小人：14,100円
②9月14日(日)発 日帰りミステリーツアー 大人：13,000円・小人：12,300円※大変好評いただいております

■主催：ひろでん中国新聞旅行企画商品／三次駅発

①11月1日(土)発 秋のJRで行く黒部・立山アルペンルート3日間 大人：88,000円～98,000円
②11月3日(月)発 名旅館総合日本一+加賀屋連泊3日間 大人：59,800円～78,800円
③11月18日(火)発 名旅館 山口大谷山荘2日間 大人：26,800円～小人32,800円

秋の紅葉企画商品：東京ディズニーランド・大阪ユニバーサル・格安パック。その他多数商品用意しています。海外旅行も扱っています。
■備北交通の高速バスパック商品／ホテルコ・ヒーデン宿泊パック：庄原発・東城発とあります。■問合せ：0824-72-2122：備北交通

お問い合わせ 広島県知事登録旅行業第2-380号 申込先（庄原）〒727-0011 庄原市東本町三丁目11番16号
備北交通株式会社 TEL (0824) 72-7440
（営業時間）月曜～金曜9:00～18:00 ※祝祭日を除く たび館 総合旅行業務取扱管理者 森久 昭博 FAX (0824) 72-0610

広告

草刈り致します 自信を持って良心的な業者宣言致します!!

草刈り・りんりんがでる業務

- ①草刈作業
- ②蜂の駆除
- ③除草剤散布作業
- ④庭木の手入れ
- ⑤枝打ち作業
- ⑥樹木伐採作業
- ⑦竹林等の間伐作業（関連した軽作業）

●小さなうちに対処しましょう。
●そのままにしておくと果はどんどん大きくなります。
●そうすると駆除も大変になり駆除費用も高くなる可能性もあります。
●スズメバチは危険ですので、業者に駆除を委託しましょう。

見積り無料 草刈り代行サービス 草刈り・りんりん
庄原市川北町3270-7 加藤 雅

お問合せ先：TEL0824-72-5460 FAX0824-72-5462

**24時間テレビチャリティ
募金活動のお知らせ**

今年のテーマは『～小さなキセキ、大きなキセキ～』

- 庄原会場／8月31日(日) 9:30～15:30
ジョイフルにて
- 東城会場／8月31日(日) 9:00～17:00
遊YOUさろん東城ほかにて